

大学女性協会東京支部

2012.7
第52号



- ・新法人JAUW東京支部の方向
- ・2012年新しい会計処理について
- ・東京支部総会報告

1. 支部活動
講演会や見学会は従来と同じように行います。異なる点は向う16年間公益事業経費を一定額出費しなければならなくなったことです。そこで国内奨学金制度を立ち上げました。本部主催のものは研究者に対して給付され、将来の指導者を育成することを目指します。それに対して東京支部主催のものは実務を通して社会に貢献しようとする人を応援します。女性は、職業に就いた後、さま

新法人JAUW
東京支部の方向



支部長 小澤 紀子

本部関係者の5年余にわたるご苦労により、法人格変更が成し遂げられました。感謝申し上げます。

本部規程変更にもない支部の活動や財務処理も内閣府の監督の下で行うこととなり、例年とは勝手が違います。2年前と比べて異なる点を説明します。

さまざまな理由で退職や休職を余儀なくされる場合が多々あります。職を離れた間の空白を取り戻すために大学や大学院に戻る事ができれば、学問に対する姿勢は一層真剣となりましょう。支部はそういう方を支援したいと考えました。予算使途の制限等を勘案して、1人年額20万円1回支給を原案として、目下規程作成を行っております。

2. 本部との関わり

東京支部は本部と共に共催・協働するという仕事を担ってきました。

一昨年度は全国総会、シンポジウム、新春のつどい、国際奨学委員会行事、国内奨学委員会行事、各種委員会案内状発送作業がありました。

昨年度は手が回らず、国際奨学委員会共催を外しました。支部委員会の体力と相談しつつ、今後はどこまで共催や協働ができるか弾力的に決めていくこととなります。

一方本部事務所をお借りしているお陰で書類の保管、会議室の確保、外部から東京支部へかかる問い合わせ等に本部事務員がなす対応は重要であり、支部委員が常駐しなくても済む等の恩恵を受けております。

3. 2年後の東京支部委員会

旧委員は新委員へとスムーズに交代するために、ともしび2011年発行号で会費の使われ方や会員の年齢構成をグラフ化して現状を訴え、委員の仲間入りをお願いしてきました。結局叶わず、取りあえずそのままの顔ぶれで新委員会を発足させました。2年後にはこのままでの統投は困難です。代わりに少人数での支部運営体制とするか、あるいは本部協働作業を本部一体化作業とするか、支部存続をかけて慎重に関係者と検討してまいります。

会員におかれましては深刻に受け止めて、交代でもよいので委員業務にご協力をくださいますよう、お願い申し上げます。

「国内奨学金制度の新設」

について

このたび新規事業として国内奨学金制度を予算化しました。支給対象は就業経験があり、再度学業を極めたいという意欲あふれる女性です。将来はその勉学の成果を実務に生かし、広く社会に還元していただくことを願っています。

現在、奨学金の規程および募集要項などの詳細を詰めている段階です。

2012年度 東京支部 収支予算書 (正味財産増減計算書) (2012年4月1日~2013年3月31日)

単位:円

科目	実施事業等会計					その他会計			支部計
	事業1 調査・研究・セミナー により発表費	事業2 奨学金給付・ 研究奨励事業	事業3 国際奨学金・ 人材育成事業	事業4 IFJW及び国内女 性団体との協働	小計	事業5 会報発行等	事業6 会員活動	小計	
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
支部活動費		100,000	30,000		130,000	228,000	200,000	428,000	558,000
シンポジウム・講演会・講演事業収益									
支部総合事業収益									
その他の行事参加費									
受取寄付金					0		50,000	50,000	50,000
受取利息					0		1,000	1,000	1,000
その他収益									
本部会計からの繰入金収入(交付金)					0		279,000	279,000	279,000
経常収益計	0	100,000	30,000		130,000	228,000	530,000	758,000	888,000
(2) 経常費用									
事業費									
給料手当		70,000	30,000		100,000		100,000	100,000	200,000
調査研究費									
旅費		200,000	60,000		260,000			0	260,000
会議費					0		20,000	20,000	20,000
会場費					0		100,000	100,000	100,000
旅費交通費	20,000				20,000		50,000	50,000	70,000
通信運搬費		2,000	2,000		4,000	50,000	20,000	70,000	74,000
消耗品費		30,000	10,000		40,000	20,000	40,000	60,000	100,000
印刷製本費					0	140,000	10,000	150,000	150,000
光熱水料費		5,000	5,000		10,000	5,000	5,000	10,000	20,000
積立金					0		100,000	100,000	100,000
支払負担金									
支払助成金									
支払寄付金									
請合費									
図書・資料購入費									
雑費		5,000	5,000		10,000	5,000	5,000	10,000	20,000
経常費用計	20,000	312,000	112,000		444,000	220,000	450,000	670,000	1,114,000
当期経常増減額	-20,000	-212,000	-82,000		-314,000	8,000	80,000	88,000	-226,000
2. 経常外増減の部									
当期一般正味財産増減額					-314,000			88,000	-226,000
一般正味財産前期末残高					4,149,520			0	4,149,520
一般正味財産期末残高					3,835,520			88,000	3,923,520
III 正味財産期末残高									

2011年度 東京支部 正味財産増減計算書 (2011年4月1日~2012年3月31日)

単位:円

科目	実施事業等会計					その他会計			支部計
	事業1 セミナー・ 調査研究	事業2 奨学金給付・ 研究奨励事業	事業3 国際奨学・支援	事業4 IFJW及び国内女 性団体との協働	小計	事業5 広報・情報	事業6 会員活動	小計	
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
支部活動費	100,000		100,000		200,000	300,000	467,000	667,000	867,000
シンポジウム・講演会・講演事業収益									
支部総合事業収益									
その他の行事参加費					0		7,000	7,000	7,000
受取寄付金					0		60,000	60,000	60,000
受取利息					0		836	836	836
その他収益		100,000			100,000			0	100,000
本部会計からの繰入金収入					0		20,000	20,000	20,000
経常収益計	100,000	100,000	100,000	0	300,000	200,000	554,836	754,836	1,054,836
(2) 経常費用									
事業費									
旅費		100,000	40,000		140,000				140,000
旅費	50,000	50,000	50,000		150,000		150,000	150,000	300,000
会議費	696		2,700		3,396		15,446	15,446	18,802
会場費	84,168		4,000		88,168		11,000	11,000	99,168
旅費交通費	30,000				30,000		54,950	54,950	84,950
通信運搬費	3,115				3,115	2,630	55,110	57,740	60,855
消耗品費	20,000	20,000	40,032		80,032	40,000	75,001	115,001	195,033
印刷製本費					0	142,300		142,300	142,300
光熱水料費		5,000	5,000		10,000		10,000	10,000	20,000
消耗什器備品費									
積立金	50,000		50,000		100,000		100,000	100,000	200,000
支払負担金									
支払助成金									
支払寄付金									
請合費									
図書・資料購入費									
雑費			10,000		10,000				10,000
本部会計への繰入金支出									
経常費用計	237,939	175,000	201,732		614,671	184,930	471,507	656,437	1,271,108
当期経常増減額	-137,939	-75,000	-101,732		-314,671	15,070	83,329	98,399	-216,272
2. 経常外増減の部									
当期一般正味財産増減額					-314,671			98,399	-216,272
一般正味財産前期末残高					4,365,792			0	4,365,792
一般正味財産期末残高					4,051,121			98,399	4,149,520
II 正味財産期末残高									

貸借対照表 2012年3月31日現在	
流動資産	現金預金 289,520
固定資産	支部事業活動準備金 3,860,000
合計	4,149,520

財産目録 2012年3月31日現在			
現金	金額	銀行名	金額
	54,323	三菱東京UFJ銀行昭谷支店	235,197
		中央三井信託銀行新宿西口支店	3,860,000
			運用金
			事業準備金

会計
竹井香子
鈴木 佳子

厳正に監査致しました結果、正確に記載されており間違いのないことを証明致します。

2012年3月31日 会計監査 佐々木澄子
会計監査 森川 淳子

〈新しい会計処理について〉

大学女性協会は、今年度から新生「一般社団法人大学女性協会」として、新たなスタートを切りました。それに伴って、会計処理の方法が大きく変わりました。

これまでは、東京支部独自の方法で、決算書、予算書の作成をしてきましたが、新法人に移行後は、本部と一体になった会計処理が求められることになり、決算書、予算書のフォームもこれまで見慣れたものとは様変わりしました。

大きな変更点は、実施事業等会計（公益目的事業会計）と、その他会計に分けて会計処理するようになったことです。その実施事業等会計も目的別に、事業1（調査・研究、セミナーにより啓発提言）、事業2（奨学金給付・研究奨励事業）、事業3（国際奨学金・人材育成事業）、事業4（東京支部では実施しない）に分けられます。他方、その他会計も事業5（会報発行等）、事業6（会員活動）に分けられます。

別紙の予算書で、通信運搬費を例にとつて説明すると、通信運搬費は、事業2、3、5、6に振り分けられて予算計上されています。この

形式を取ることによつて、従来の計上の仕方より用途がより明確になっています。このように、それぞれの事業で、どういう費用がいくら使われているのか、明確に分かるようになってくるのが、このフォームの特徴です。

次に、これまで公益法人として蓄積してきた残余財産（約415万円）は、約16年で公益目的事業で使い切ることが義務づけられています。従来どおりの活動では、使い切ることは難しいと思われます。そこで、新たに東京支部独自の国内奨学金制度を事業化する計画を立てて予算に組み入れています。

その一方で、その他会計では、期首残高は0円からのスタートとなりますので、支部活動費等を積み立て、期末残高を増額していく必要があります。

例えて言えば、東京支部は今、実施事業等会計という高額のお金で、パンパンに膨れ上がった大きなお財布を所有していることになりました。大きなお財布の中身は、公益目的の事業で約16年で使い切り、空っぽのお財布は、新たな活動資金とするための中身を増やしていく必要がある

ということですが、

さらに、年会費は、従来どおり、9000円徴収しますが、その内訳は昨年度までとは異なり、本部会費7000円、支部活動費2000円となります。ただし、本部に納入した本部会費から、1000円が支部への交付金として戻ってきます。

東京支部は、本部の事務所を使用している立場上、使用料の支払いが発生します。この使用料は給料手当、光熱水料費、消耗品費の一部を東京支部が負担する形で支払ってきました。今年度もこの形をとります。昨年度は、本部への支払いが総額で48万円でした。今年度は、1人1000円として、総額で30万円に減額されました。内訳は、給料手当20万円、光熱水料費2万円、消耗品費8万円です。予算書での消耗品費10万円は、東京支部の消耗品費2万円が上乗せされた額になっています。

以上が、主たる変更点の概略です。今後は新会計基準に則った会計フォームで計上していきます。（鈴川）

事業報告・予定

- | | |
|-------|--|
| 4・21 | 東京支部総会
記念講演
「光きらめくモロッコ」
講師 広瀬晴子氏 |
| 5・9 | 東京支部国際奨学金送金
カルメラタンボンゴクさん
(在フィリピン) |
| 5・12 | JAUW
第一回定時会員総会
於・都市センターホテル
(東京) |
| 7・25 | 東京支部会報「ともしび」
第52号発行 |
| 9・22 | 講演会「国連と私たち」
講師 房野 桂氏
神奈川支部と共催 |
| 10・14 | JAUW主催シンポジウム
於・日本女子大学
新泉山館 |
| 11・20 | 東京スカイツリー見学会
「ソラマチで食事をして
スカイツリーにのぼろう」 |
| 2013年 | |
| 1・12 | 新春のつどい
国内奨学金贈呈式 |
| 3・25 | 東京支部会報「ともしび」
第53号発行 |

*新たな企画は、その都度お知らせいたします。



2012年東京支部総会報告

一般社団法人に移行後初めての東京支部総会は、4月21日(土)津田ホール内会議室で開催された。

38名の出席者と116名の有効委任状提出があり、計154名で総会は成立した。

新しい法人の出発にあたり建設的な意見をいただきたいという小澤紀子支部長の挨拶の後、青木怜子会長より、東京支部は人数が少なくなっ



たが大学女性協会の中の大きなパワーとして本部と協力しながら、なおかつ本部に発信し、活動を進めていってほしい、とのお話があった。

議事に入り、2011年度事業報告、会計報告、監査報告の後、2012年度事業計画案、予算案が発表された。審議に入り、予算案に対するの誤りの指摘、事業計画案の新たに設ける東京支部国内奨学金についての多くの質疑応答の後、すべての議事が承認された。

支部長、役員承認、委員の紹介後、東京支部委員が激減していること、今後の委員会活動がどうあつてほしいかということ踏まえ「東京支部委員会に関する話し合い」がもたれ、活発な討論の後議事は終了した。

最後に東京支部委員である元モロッコ特命全権大使の広瀬晴子氏による「光さらめくモロッコ」と題する記念講演があり、総会は終了した。

今回は「会員の皆さまの声をお聞かせください」というアンケートも実施した。今後の支部委員会活動の参考にしていきたい。(今村)

「東京支部委員会に関する話し合い」について

話し合い」について

さる4月21日の支部総会では「東京支部委員会に関する話し合い」の時間を設け、現在支部が置かれていく厳しい状況について出席された会員の方々と率直な話し合いをいたしました。支部では委員の不足が深刻であり、この状態のままではいずれは支部活動に支障をきたすことが明らかであることを説明しました。この現状に対してはご理解をいただけたものと推察しておりますが、具体的な解決策を得るまでにはいたりませんでした。

総会当日、出席の皆さまに支部活動への参加をお願いするアンケートを実施しました。「委員になってもよい/将来できるかもしれない」という項目には、残念ながら希望者がありませんでした。「次の方を委員に推薦します」という項目では6名の会員の推薦がありました。また、「発送等臨時に手伝えることができ」という項目にチェックを入れてくださった会員が8名あり、これらの方々には今後お手伝いをお願いする予定です。また「支部の活動と

して望むことは？」という項目には「会員相互の親睦」、「時事的な関心事の講演会」、「勉強会や読書会」に特に多くチェックが入っており、会員同士のふれあいを希望する一方で知的好奇心にあふれる頼もしい会員の姿が浮き彫りになりました。

また「新しいサークルとしてどのようなものをお望みですか？」という項目には、「江戸時代の古地図を読む」、「語学関連」、「書道」などが挙げられていました。講師として推薦された会員も2名ありました。

これらの貴重なご意見は今後の活動に反映させていただきます。今回総会にご出席いただけなかった会員の皆さまのご意見も是非お寄せください。また講師をお願いできる会員をご存じの方はぜひご推薦ください。たくさんの方々が気楽に参加でき、会員同士の交流をより深めている活動を目指していきたいと思っています。ご協力をどうぞよろしく願っています。(堀内)



〈東京支部総会記念講演〉

(12・4・21)

「光きらめくモロッコ」

—改革の進む

北アフリカの親日国—

講師 広瀬 晴子



記念講演
演題「光きらめくモロッコ」
講師 広瀬晴子氏

この4月から法人格が「一般社団法人」になったことに伴う事務処理や東京支部活動を進める支部委員会などなど、今回の支部総会は様々な意見交換が白熱し、終了予定時間が長引き休憩タイムが不十分のまま記念講演が開始となった。疲れが残る会場内の雰囲気は少々心配だったが「光きらめくモロッコ」演題そのままの透明で明るく、エキゾチックな風景がスクリーンに投影されると、一瞬にして会場内がリフレッシュ。モロッコとはどんな国なのか、人々の暮らしとは魅せられていった。

講師の広瀬晴子氏はモロッコ特命全権大使として赴任。任務終了後も長期に渡って当地に滞在。2年前に帰国され、現在東京支部会員でもある。

アフリカ北西部に位置するアラブ系の国、碧い空にモスクの白い建物、ラクダにオリブの木と映画「カサブランカ」の印象のみ。親近感はあるも情報は少なく、モロッコの現況はほとんどわかっていなかった。

アラブの春と言われる民主化の嵐が吹き荒れた北アフリカで安定した立憲君主制を維持し、国民に人気のある若き国王のもと、改革が大きく進み昨秋の総選挙で穏健イスラム党首が首相となり昨年の12月に新内閣が発足。近代化がいよいよ進む中、人々の生活は急速に変化していると広瀬氏は語られ、次々に紹介されるスライドからもその様子が理解できて新鮮だった。

基本的に牧畜と農業で暮らしている人々も近年はご多分にもれず現金収入のため多くが街に、ヨーロッパに出稼ぎを余儀なくされている。教育向上のための学校建設も進められてはいるが、山と砂漠という風土上インフラ整備は容易ではなく、通学の便が悪く学生が定着しない。今も識字率は56・4%だそうだ。

新しく国造りをしている様子に興味は尽きない。続きの機会をぜひと期待している。(芦澤)

東京支部会員

寄稿コーナー

ときえだひろこ

書評

高校の「女性」校長が

少ないのはなぜか

—道府県別分析と女性校長

インタビュアーから探る—

河野銀子・村松康子 編著

二〇一一年十一月一日 学文社発行

この本のタイトルともなっている

問いには、日本国内で社会人としての体験がある人ならばだれでも、直ちにある答えをせずにはいられないでしょう。ところが、この編著者らと共同執筆者との研究チーム八人は、社会学を駆使し、あくまでも科学的プロセスを踏んで、客観的な回答を得ようとしています。この態度には人間の自由の尊重と同時に、人間の行動選択に役立ちたい熱意と、合理的改革への勇氣とを、感じました。

すべての日本人が影響を受けざるを得ない学校教育現場に人間観の歴史的歪みの皺寄せが集中している現象を見たいと願っています。

☆会員からの寄稿コーナーを始めました。テーマは自由です。投稿をお待ちしています。

状態で、子ども達が蒙る不利益は、女の子だけではなく男の子にも及びます。この本によって、女性の校長職への「登用」の具体的事例が統計的そして個別的に「精査」された結果、日本教育界の世界的時代錯誤の内実が明示されました。もはや喫緊の課題として、自分自身のジェンダー意識を改革する潮時が来ている今、すべての人に、特に教育に関わる人にご一読をお勧めします。

ところで皆様の行動計画は、「百年河清を待つ」か、「クォーター制を支持する」か、それとも何かほかの方法ですか。この本は、「女性」校長に限らず、国公立大学の学生・職員、立法・行政・司法などの公共的職場に、性別人口比に見合うまで女性の人数を増やすことを、そしてこの国が人事的座屈状態から脱出することを促しています。

わたくし自身は、女性の校長職志望者全員に見合うまでに学校（地域によって分校）が増え、一石数鳥効果を見たいと願っています。

第一回定時会員総会に参加して

於・都市センターホテル

(12・5・13)

社団法人大学女性協会は本年4月1日から一般社団法人へと移行し、5月13日東京の都市センターホテルにて第一回定時会員総会を開催いたしました。これに先立ち、前日夕方から新法人スタート記念音楽会が開かれました。場所は千駄ヶ谷駅前の津田ホールで、ヴァイオリン久保陽子氏、ピアノ伴奏百武恵子氏によるものです。東京支部は当日の受付をお手伝いいたしました。

開場16時30分でしたが、直前までリハーサルが続けられ、受付付近で待つ間静かに期待が膨らんで、会場に入るのが待ち遠しいほどでした。

拍手に迎えられ演奏が始まりました。用意されたプログラムには、クライスラー、パガニーニ、サンサーンス、バッハなど誰にもおなじみの作曲家の作品が並び、演奏は素晴らしいものでした。その他の曲も何か語りかけてくるようで、うっとりとした聞き入ってしまった。サラサールのツイゴイネルワイゼンでは最高に盛り上がり、拍手鳴りやまぬ会場

でアンコール曲もいくつか演奏されました。その余韻冷めやらぬ心地で出口に向かいました。久保陽子氏のCDが何種類か並んで販売されており、奏者自らがサインをしてくださいました。一人ずつ語りかけるとともに丁寧を書いてくださるので、時間はかかるけれども誰もが満ち足りた表情で、よい交流のひとつとなりました。用意したベンディングがなくな



祝賀パーティ

りそうで、急いで代わりのベンを探す場面もありました。

翌朝、一般社団法人としての第一回定時会員総会は、

本部主催で会場を都市センターホテルに決め開催されました。

全国の支部から約170人の会員が集まり、会次第にそって議事が進みました。会場のうしろでは東京や

神戸、仙台支部などのバザーが催され、群馬支部からは薫り高いバラが展示販売されて華やきました。

なお第一回総会を祝って、当日朝できたての紅白饅頭を出席の皆さまにお配りし喜んでいただけただけことは、手配した東京支部としては嬉しいことでした。

(酒葉)

第一回支部長会および

支部長・委員長会の報告

支部長 小澤 紀子

一般社団法人JAUWでは従来の評議員会を廃止して、代わりに支部長会を発足させた。評議員会や支部長会是全国の支部代表者が一堂に集まり意見を交わすことができる貴重な機会である。特に今回は法人格の変更に伴い支部も規約変更など法に沿って処理しなければならず、実質的かつ緊張した雰囲気であった。

支部長会は総会の前日13時～13時半に開かれた。議事は新法人への対応に関して、阿部副会長から①支部活動のうち公益性のある「実施事業」と会員限定の「その他事業」への分別②年会費7千円のうち交付金1千円の使途はその他事業に限るこ

と③金融機関への変更届け方法や新規開設に対する場合の要望について説明があり、城倉支部担当理事から④支部規約の作成例が提示された。以上が主たる内容であった。

引き続き支部長・委員長会が13時半から16時半まで開かれ、この場で質議応答がなされた。新年度になって多くの支部が金融機関へ変更届けを出そうとしたが書類不備のためできなかったとみえて、いろいろの場合が質問され、一方でそんなに厳密でなくても自分のところでは通ったという妙案も出されて、実施者である支部長や委員長には情報交換の場にもなった。なお不明な場合は事務所に問い合わせると総務や財務担当理事から返答が戻される。

真面目に事務処理してきた団体ほど煩雑な法人改革の嵐に巻き込まれてしまうのは、政府本来の改革の趣旨に沿わないと思う。団体側が基本を理解した上で弾力的に運用する賢さを求められるのであろう。

ある支部から、本部役員や本部企画を実施する場所を全国分散化することの提案があった。また委員長からは支部に対して協働が要請された。本部と支部間の交流が何われ、頼もしい結末であった。

東京支部国際奨学金



新国際奨学生が

決定しました

☑ジェニリン・

ヌガイさん

(在フィリピン)

1994年5月23日
生まれ。18歳。父母とも
にピラーン民族で父親
は農業のかたわら日曜
日には神父の代わり
集会のもとめ役をする
レイコーポレーターと
呼ぶ役割をはたしてい
る。年間収入は母親と
あわせて12000
ペソ(約23000円)
と少ない。小学校、ハ
イススクールまでは何
か親族の助けで学校に
通えたが、さらに高等
教育を受けるのは困難



教育を受けるのは困難

ななか、今回の奨学金でジェネラル
サントス大学教育学部(英語専攻)
進学が可能になった。まずは小学校
教師免許の国家試験を受けて、地元
の公立小学校の教師になることを希
望している。子供たちが教育を受け
て将来村の発展のために働いてほし
い、というジェニリンの住む村ラム
トゥボ住民の期待は大きい。

※なお今年度の奨学生より奨学金を
年間4万円に増額いたしました。

国際奨学生の近況

☑ウムリナ・ガクバ・

ディアネさん

(在ルワンダ)

今年1月に4年生になりました。
最終の送金は1月をも
つて終了いたしました。

☑カルメラ・

タンボンゴクさん

(在フィリピン)

今年の4月から5月につけ
てのサマースクールを終え、
6月に無事大学3年生になり
ました。来年の卒業まで送金
を継続します。

JAUW事業委員会が発足

事業委員会委員長 加藤恭子

大学女性協会は今年度より一般社
団法人として認可されました。今ま
では活動のために必要な経費を旧財
務委員会が一部補ってきましたが、
一般社団法人になると、これまで積
み上げられた資金はセミナーや各種
奨学金など公益目的の事業に使用が限
定され、公益性のない事業、例えば
会報や会員活動にはその年の収入が
あてられます。

しかし会費収入だけではすべての
活動を行うのに不十分なので、それ
を補う資金を作り出すのが今回発足
した事業委員会の仕事です。

委員は現在24名。活動は(A)(B)
(C)(D)(E)の5グループに分
けました。(A)バザー、見学会、
バス旅行、食事会、(B)歌舞伎・能・
狂言・文楽・オペラなどの観劇、(C)
コンサート、(D)講座・講演会、(E)
新春のつどい、支部交流の親睦旅行
など多岐にわたります。先の久保陽
子ヴァイオリンコンサートは多くの
皆さまの参加を得て、約53万円の収
益をあげることができました。(A)
グループの企画で毎月第三水曜日は

事務所でミニバザーが開かれます。
事業委員会の活動にはどなたでも
参加できます。さまざまな企画を一
緒に考え実行し、ぜひ活躍の場にし
ていただきたいと思います。



大学女性協会東京支部 2012年度 新役員・新委員

支部長

小澤紀子

副支部長

大川薫代

書記

堀内洋子

会計

鈴木佳子

監査

早瀬暢子

委員 (五十音順)

竹井香州子

今村麻子

坂上栄美子

森川淳子

芦澤紗知子

岩田良子

酒業美智子

玉澤淑子

野口紀美子

村木晴子

